

フェニックス



宮腎協

宮崎県腎臓病患者連絡協議会

〒880-0866 宮崎市川原町2丁目17 富田ビル1階
TEL (0985) 27-0822 FAX (0985) 73-8222
Email: miyajinkyo@bz03.plala.or.jp

vol. 1
2014.10.30



会長挨拶



会長 横山 真三

休刊していた「フェニックス」、誌面を新たに発行です。

私が会長の職を仰せつかって1年が過ぎ、機関誌の誌面で御挨拶することも出来ずにいました。その間、宮腎協は全ての活動を見直し、組織の再生に向けて考えてきました。その中で、行事の内容を見直したり、法人化についての検討も行っていますが、それ以上に患者の高齢化や病院の閉鎖、役員経験者の相次ぐ死去などの影響は大きく、会員数は減少の一途をたどっており、宮腎協の運営に大きな影響を与えています。この状況はわが県だけに限ったことではなく、全国的に同様の問題を抱えています。また、そ

の脱却方法についても名案を持たないのも全国共通のようです。『国内最大の患者会』である全腎協の存在自体も危うく感じられる今、もし、この患者会が無くなったら、私達をとりまく医療・福祉はどうなるのか…。透析や移植に対する障害年金の見直しや手帳の等級についての見直しが行われそうな状況である今、患者会の存在意義を今一度、皆で考えていきましょう。



宮腎協第42回総会

5月11日、さどわらくじら館にて、第42回定期総会を開催しました。出席者は166名（委任状1066）で、提出議案については全て承認されましたが、決算報告、予算案の記載についての質問、要望があり、次回からはご意見を参考にして議案書の作成にあたりたいと思います。

また、今回は河野知事が公務の立て込んでいる中駆けつけて下さり、会員へ激励の言葉と腎疾患に対する理解を示されたことは、我々患者にとって心強く感じることでした。



河野知事より激励



全腎協大会 in さぬき

5月18日、香川県高松市のアルファあなぶきホールにて開催されました。

和太鼓集団「満天」の迫力ある演舞で幕を開け、今井会長、来賓と挨拶があった後、透析歴40年の代表者が表彰され、お一人お一人の熱く、またユーモアの溢れたコメントには、会場が涙と笑いに包まれました。その後は大会決議の承認、記念講演、ランチョンセミナーなどが行われました。

次回の全国大会は長崎県です。宮腎協では参加ツアーを計画しております。是非一度、全国大会に参加されてみてはいかがでしょうか。
(横山)



全腎協会長会議

7月12日、13日東京大森にて全国会長会議が開催されました。本来であれば事務局長会議の予定でしたが、全腎協の一般社団法人移行に伴うコンプライアンス強化について、急遽会長を招集して行われました。当然の事ではありますが、各県腎協においてもコンプライアンスの遵守については再確認しなくてはならない重要事項であります。
(横山)



全腎協九州ブロック前期会議 in 佐賀



平成26年度的全腎協九州ブロック前期会議が8月23日(土)・24日(日)に佐賀の武雄温泉・湯本荘東洋館で行われました。参加者は26名。宮崎からは横山、廣瀬の2名が参加しました。

1日目の前半は佐賀県内の某透析施設の事務局長による「透析施設経営の実態」について講演がありました。後半は佐藤佐腎協常務理事による佐腎協が行った「維持透析患者の高齢居住施設への入居に関するアンケート」に対する調査報告がありました。2日目の前半は全腎協今井会長を囲んで一般社団法人になった新しい全腎協についての経過報告と質疑応答が行われました。後半は各県より提案されたテーマについて意見交換が行なわれました。

内容に関しては諸事情により割愛させていただきますが2日間参加して感じたことは宮崎の透析環境は様々な面で他県に比べて非常に遅れていると感じました。宮腎協に関しては今後法人化も含めた組織の再編と各関係機関との連携、人材の確保と育成が早急に必要だと感じました。

(事務局長 廣瀬)

移植セミナー in 宮崎 来年2月開催！

名古屋第二赤十字病院移植外科部長 と I型糖尿病から膵腎同時移植の経験者を招いて

詳細は後日お知らせします。



九州ブロック青年交流集会に参加して

平成 26 年 7 月 26 日（土）、27 日（日）の日程で第 16 回九州ブロック青年交流集会が宮崎市のホテルマリックスで開催され、宮崎県からはホスト県として 11 名の部員の皆様が参加していただき開催準備に運営にと骨を折っていただきました。おかげさまで無事終えることができ次回開催の鹿児島県にバトンを繋ぐことができました。

研修会一日目は金子全腎協理事の制度についての話と森山さんの体験談を聞き意見交換をするというものでした。二日目はオーバーナイトの施設見学でした。

まず、一日目 26 日のスケジュールは 14 時開会で参加者同士を和ませるためアイスブレイクをしました。これで緊張をほぐしたあとみやざき犬 ひい君、むう君、かぁ君の 3 匹の登場で場を盛り上げていただき記念写真撮影をした後、講演となりました。

金子理事の講演では透析患者を取り巻く現状と医療費のしくみについて聞くことができ大変勉強になりました。今まで受けてきた制度が廃止され、患者の負担が増えていく現状を目の当たりにして今後、我々患者が取り組んで行かなければならない課題が見えてきました。これから少しでもその問題を解決するため、仲間と立ち向かっていきたいと思います。

また、森山さんの透析をしながらの妊娠出産の体験談については貴重な経験を聞くことができました。グループ討論では自分のいた B グループでは今回初参加の女性 2 人にとっては参考になっているようでした。講演のあと夕食会ではさらに打ち解けて各県の仲間と楽しい交流の時を持つことができました。

次に、二日目は朝食後、各県の部長のみで 9 時まで部長会議をしたあと全体で集まって 1 日目の講演について意見交換をしました。グループごとに意見のまとめを行い、発表を行いました。こうして研修会を終えた後、施設見学に森のクリニックへ行きました。施設では丁寧な説明を院長はじめ、事務長、スタッフの方々にしていただきオーバーナイトの透析の現状を知る良い機会となりました。

こうして 2 日間に及ぶ宮崎での交流集会を終えることができました。これらの学んだことをそれぞれ自分たちの病院に戻って自分たちの透析ライフを豊かにすることに活かして欲しいと思います。また良い学びの機会を与えて頂いたことに感謝したいと思います。（青年部部長 三木幸浩）



みやざき犬と宮崎のメンバー



熱心な討議



活動報告

難病連知事面談

7月2日、宮崎県庁にて河野俊嗣知事との面談が行われました。宮腎協からは、横山、岩田、川野、廣瀬の4名が出席し、宮腎協の現状と課題などを説明しました。この会は、各団体の持ち時間が数分しかなく、一方的に話をするだけですが、これ以前に幹事会や総会への出席をしていただいている河野知事には、宮腎協への理解はいただけているように感じました。



宮崎市への要望に対する回答の報告

5月22日(木)に宮崎市役所で平成26年度の宮崎県難病患者団体連絡協議会(難病連)の宮崎市への要望の回答が行われました。宮腎協からは横山と廣瀬が出席しました。市側からは戸敷市長以下担当各課の方々が出席されました。諸事情により今回宮腎協は事前に要望を出していませんでしたので回答とは別に、直接市長に透析患者の通院の現状を伝え、通院困難者が増えていることを理解してもらいその対策をお願いしました。

また協坂病院問題の処理と透析患者に対する災害対策についても担当各課をお願いをしました。
(事務局長 廣瀬)

第1回運営委員会・幹事会の報告

6月22日(日)に宮崎市総合福祉センターで平成26年度の第1回運営委員会・幹事会が行われました。

本部役員と各ブロック長・各病院腎友会代表が参加をしました。会長挨拶のあと経過報告が行われ、そのあと事前に提案された

- 1) 各ブロック・専門部の活動方針について
- 2) 県に対する要望書について
- 3) 市町村腎友会について
- 4) 街頭キャンペーンについて
- 5) 宮腎協交流会について
- 6) 来年の全腎協大会について
- 7) 法人化について

などの事項について協議し今年度の活動計画を再確認しました。

(事務局長 廣瀬)

第44次 全腎協国会請願活動にご協力を！

年末に署名用紙を配布します。

署名活動と募金に皆さんのご協力をお願いします！

ボーリング大会報告

平成 26 年 6 月 15 日(日) 10 時よりラウンド 1 にて青年部主催ボーリング大会を開催しました。参加者 26 名の少数ではありましたが 8 レーンを使用して 2 ゲームをみんなで楽しむことができました。

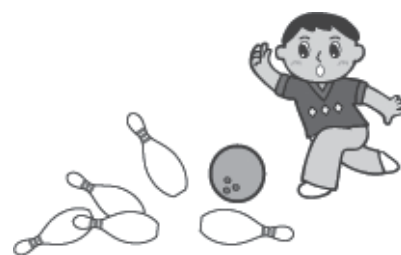
団体戦は行わず個人戦のみの開催でした。結果は次の通り

♠ 優勝 林 昭至 横山病院

♠ 準優勝 林 やち子 横山病院

♠ 3 位 櫛間 俊夫 さわの内科クリニック

(三木幸浩)



毎年 10 月は臓器移植推進月間です！

宮腎協でも、「臓器移植推進街頭キャンペーン」を県内 8 地区で行います。

中央地区では、10 月 4 日にイオン宮崎にて行いました。イオンショッピングモール内で横断幕を掲げて「臓器移植にご理解とご協力を！」「意思表示カードに意志の表示を！」と呼びかけながら行進しました。その後は、風船を片手に全ての臓器移植に関するパンフレットをセットにした袋を来場客に配布しました。

当日の様子は、新聞社の取材もあり、3 紙に取り上げられました。

(横山)

子供に風船を手渡す宮腎協メンバー
(中央ブロック)





新設病院紹介

ご挨拶



日高 恵子 院長

アイレHD クリニック

平成 26 年 4 月 1 日に宮崎市新名爪に内科診療所を開院致しました。子育て中の「ママさんドクター」二人で診療をさせて頂いております。

当院で働いているナースやクラークの半数以上が子育て中で、出産を控えているスタッフもいます。患者さんとのコミュニケーションを大事にして、女性の視点を生かし、温かい雰囲気大切に医療を、スタッフ一同、助け合いながら提供していきたいと考えています。

私が医師を志したはじまりは、と考えると、小学校 1 年時の文集に、「父の後を継いで医者になりたい」と書いた事を思い出します。実家は延岡の「日高内科医院」で、現在は医師の姉が手伝っています。父の叔母は、東京女子医専を出て医師として働き、母方の祖父も、大分県佐伯市で開業医をしており、医療の世界が身近にあったことで、あまり迷うことなく医者の道を選びました

父は日本医科大学属附病院で内科医として勤務しておりましたが、祖父である「日高勝三郎」の意向もあって、延岡に帰郷し、それから約 40 年間にわたり、地域医療に貢献してきました。そんな父の背中をみて育ちましたので、地域医療に対する想いは自然に身についているものと信じて、日々診療に当たっています。

癒しの医療を求めて

科学的根拠に基づいた知識を深め、医療の技術を磨いていくことはもちろんのことですが、それだけでは私たち人間は癒されません。私たちが癒されるためには人と人との心の触れ合いが大切だと考えています。患者さんひとりひとりに心を込めて 献身的に温かい気持ちで接することで、治る力を最大限に引き出すことができ、予想以上に薬の効果を 얻을ことができるのではないのでしょうか。職員それぞれが十分に力を発揮できるようお互いの立場を尊重して、意見を述べ合い チームワークの力を高める努力をしています。

当院では職員一丸となって癒しの医療を提供しようと努めております。ここに来てよかった、またここに来たい、と思って頂けるような、医療機関を目指していきたいと思っています。快適な空間で患者さんの心を癒すことができるよう、当院では設計段階から配慮を重ねてきました。

構造は宮崎県産材を使った木造二階建て建築で、腰壁や天井まで県産材の杉板を施しています。玄関に一步足を踏み入ると、木の香りが心地よく漂ってきます。トイレでは空間を広く感じられるよう、全てタンクレスにしました。廊下やトイレにはゆったりとしたジャズの BGM を流して、トイレの使用音が気にならないようにするなどの工夫をしました。

一階は一般的な内科診療所ですが、二階は人工透析内科となっており、毎日、血液透析の治療を多くの患者さんに行っています。治療を受ける間、少しでも快適に過ごせるよう、天井は中央

部分が屋根裏まで吹き抜けで大きな組柱は見えるようにし、照明は間接照明にして、圧迫感や目に刺激が無いように配慮しました。

透析ベットにも工夫をしています。全てのベットを3モーターベットにし油圧サイドテーブルを付け、DVD付19インチテレビを備え、寒がりの患者さんが多いことに配慮して、当院が考案したカーシートヒーターを用いた、ダブルヒーターマットレスバネボトム仕様で、寝心地座り心地とも良く大変好評です。

こだわりの透析

透析膜を介して血液と透析液を接触させ、主に拡散の原理で血液中の対象物質を除去するのが血液透析（HD：hemodialysis）です。当院ではオンライン HDF 対応の透析監視装置を取り揃えております。

HDF（hemodiafiltration）とは、血液透析に濾過の原理で対象物質を除去する方法を加えたものです。オンラインというのは、透析装置から供給された透析液の一部を補充液として、回路に注入して行う方法です。簡単に言えば、透析の機械を使って余分な毒素や水分を除去するのが血液透析なのですが、それでは十分に除去出来ない毒素をさらに抜き去ることができるのが、血液ろ過透析（HDF）なのです。

HDF は通常の血液透析では十分に除去できない、分子量の大きな尿毒素を除去できるため、透析による長期の合併症を予防できるとされています。関節痛や皮膚の掻痒感やイライラ感などに対しても有効です。透析装置から供給された透析液の一部を補充液として、回路に注入するため透析液は極限まできれいにすることが必要です。通常は透析液が通る管の中は薬液を使って消毒しますが、薬液だけでは消毒しきれないデットスペースといわれる配管接合部が存在します。当院では薬液消毒に加え、熱水消毒システムを採用し、デットスペースに対して熱伝導作用による消毒効果を期待しています。

当院の透析監視装置はすべて全自動で、透析通信システムを導入し、患者さんの細かなデータはすべてシステムで管理しています。それによって、安全な透析治療を支援し、透析業務の効率化を図り、そこで生まれた時間をより細やかな看護や、コミュニケーションに利用するようにしています。

当院のモットーは透析を受ける患者さんの生活を全般的に支援することです。まずは十分な透析を受けることが大切で、希望に応じて長時間透析やオンラインHDFを行っています。透析患者さんが元気で長生き出来る様、これからも最大限の努力をしスタッフ一同で対応していきたいと思ひます。

- 透 析 月～土 9：00～15：00
- 所在地 宮崎県宮崎市新名爪 195
- TEL 0985-72-8181





お知らせ

平成 25 年度賛助会

ご協力ありがとうございました

病 院

医療法人友愛会上原内科	医療法人忠恕会内田医院
医療法人萌誠会海老原クリニック	落合内科
木下内科医院	医療法人連理会せの内科クリニック
医療法人宏仁会海老原内科	医療法人社団清風会花房泌尿器科医院
山下医院	医療法人頌和会あそう内科
医療法人仁愛会横山病院	医療法人社団永和舎延岡クリニック
医療法人社団健腎会おがわクリニック	医療法人芳徳会京町共立病院
黒木内科医院	医療法人同心会古賀総合病院

スタッフ・個人

海老原総合病院スタッフ	7 名様	他	個人 3 名様
-------------	------	---	---------

企 業

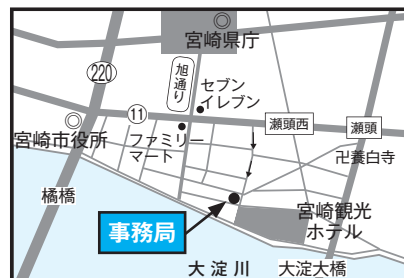
エルピス株式会社	ベータ食品株式会社
株式会社エスアイエス	メディキット株式会社
株式会社河野商事	株式会社文昌堂

本
年
度
も
賛
助
会
員
を
募
集
し
て
い
ま
す
!

事務局移転

4 月 1 日より宮崎県腎臓病患者連絡協議会事務局は宮崎市川原町に移転しています。宮崎観光ホテルの裏手にあたります。

お近くにおいでの際は、お気軽にお立ち寄り下さい！



編集後記

山なみにも紅葉が目映る季節となりました。機関誌（フェニックス）も一年間休刊しましたが、この度、会友さん達の要望により、年 2 回発行することになりました。

今迄より枚数（ページ）も少なく、カラー写真も出来ませんが、宮腎協の大事な行事など掲載しようと思っています。又、次回より俳句、短歌など募集したいと思いますので、皆様の御協力お願い致します。

編集部